シラバス案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象教科・科目 | 単位数 | 学年・学級 |
| 外国語科・コミュニケーション英語Ⅲ | 4 |  |

1　学習の到達目標等

|  |  |
| --- | --- |
| 科目の目標 | 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。  具体的な言語活動は以下の通り。  ア．事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。  イ．説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。  ウ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。  エ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 |
| 使用教科書・副教材等 | Revised ELEMENT English CommunicationⅢ(コⅢ334)，ワークブック，予習ノート |

2　コミュニケーション英語Ⅲの評価の観点，規準及び評価方法

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ②外国語表現の能力 | ③外国語理解の能力 | ④言語や文化についての知識・理解 |
| 観  点 | コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。 | 英語で話したり，書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。 | 英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。 |
| 規  準 | 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 | 情報や考えなどについて，英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。  情報や考えなどについて，英語で簡潔に書くことができる。 | 英語を聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりすることができる。 | 英語の仕組み，使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに，言語の背景にある文化を理解している。 |
|  | a. 授業に対する意欲／b. 発表／c. 課題等の提出／d. 小テスト・定期考査 | | | |

3　学習計画及び評価方法等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学期 | 月 | 考査範囲 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| １学期 | 4 | 中間考査 | Discourse Navigator 1～2 | パラグラフについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  d |
| Lesson 1  Lies, Damned Lies, and Statistics | <題材内容>  ・統計がどのように嘘をつくかについて理解する。  ・折れ線グラフを使ったデータの見え方の違いを理解する。  ・統計を利用する際に筆者と読者が気をつけるべきことについて理解する。  ・なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか，またそれをどのように見抜くかについて話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学期 | 月 | 考査範囲 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| １学期 | 5 | 中間考査 | Lesson 2  Language Extinction | <題材内容>  ・何が言語を消滅させるのかを理解する。  ・言語が消滅するときに私たちが失うものは何かを理解する。  ・世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを理解する。  ・日本で英語を話す人々が増えれば，日本語も消滅すると思うかについて話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 期末考査 | Lesson 3  Environment or Orangutans? | <題材内容>  ・オランウータンが絶滅の危機に瀕している理由を理解する。  ・ヤシ油の人気が再燃している理由を理解する。  ・ヤシ油の人気がオランウータンにおよぼす影響を理解する。  ・環境と経済のためにヤシの木を植えるべきだという意見に対する自分の考えを書く。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 6 |
| Deepen Your Thoughts! 1 | 「大学生は全員，少なくとも１年間は留学すべきだ」というテーマに関する音声を聞いて話し合い，自分の意見をまとめる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b  c |
| Pros and Cons 1 | 「小学１年生から英語を勉強し始めるべきだ」という論題に対して肯定側と否定側に分かれ，ディベートを行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b |
| Discourse Navigator 3～4 | ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  d |
| 7 | Lesson 4  The Truth about Grit | <題材内容>  ・ニュートンが万有引力の概念を思いついた逸話の真実を理解する。  ・心理学者が気骨について研究し始めた経緯を理解する。  ・気骨に対するよりよい理解が何を可能にするかを理解する。  ・気骨を鍛える方法について話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。 | | | | | | | | |
| 《第１学期の評価方法》  １　評価対象：　a. 授業に対する意欲／b. 発表(内容・態度)／c. 課題等の提出(内容・態度)／d. 小テスト・定期考査  ２　評価配分：　a. 授業に対する意欲○％／b. 発表○％／c. 課題等の提出○％／d. 小テスト・定期考査○％ | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学期 | 月 | 考査範囲 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ２学期 | 9 | 中間考査 | Lesson 5  A Class from Stanford University | <題材内容>  ・筆者が授業で出した課題がどのようなものだったかを理解する。  ・それぞれのチームが課題にどのように取り組んだかを理解する。  ・この課題から得られる教訓を理解する。  ・自分がこの授業を受ける生徒だったら何をするかについて話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| Deepen Your Thoughts! 2 | 「教師は全員，授業で科学技術を利用するべきだ」というテーマに関する音声を聞いて話し合い，自分の意見をまとめる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b  c |
| Pros and Cons 2 | マイケル・サンデル教授の講義を読み，「日本政府は，富裕層により高い税率を課すのをやめるべきだ」というテーマでディベートを行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b |
| 10 | Discourse Navigator 5～6 | ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。 | ○ |  | ○ | ○ | a  d |
| Lesson 6  The Mpemba Effect | <題材内容>  ・ムペンバが発見した現象について理解する。  ・発見を否定されたときにムペンバが何をしたかを理解する。  ・「ムペンバ効果」をめぐる議論について理解する。  ・子どものころに答えが見つからなかった問いについて話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 11 | 期末考査 | Lesson 7  Invisible Gorilla | <題材内容>  ・ゴリラ実験がどのように行われ，どのような結果が出たかについて理解する。  ・ゴリラ実験によってわかったことと，それが何を示しているかを理解する。  ・「非注意性盲目」がだれに起こるかと，「注意の錯覚」がなぜ起こるかを理解する。  ・目立つものを見逃した経験について話し合う。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| Deepen Your Thoughts! 3 | 「地球温暖化の原因・結果と解決策は何か」というテーマに関する音声を聞いて話し合い，自分の意見をまとめる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b  c |
| 12 | Discourse Navigator 7～8 | ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。 | ○ |  | ○ | ○ | a  d |
| Lesson 8  A Small Crime | <題材内容>  ・主人公がしかられることになった経緯を理解する。  ・主人公が部屋で考えていたことを理解する。  ・主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解する。  ・落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ，市長に電子メールを書く。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。 | | | | | | | | |
| 《第２学期の評価方法》  １　評価対象：　a. 授業に対する意欲／b. 発表(内容・態度)／c. 課題等の提出(内容・態度)／d. 小テスト・定期考査  ２　評価配分：　a. 授業に対する意欲○％／b. 発表○％／c. 課題等の提出○％／d. 小テスト・定期考査○％ | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学期 | 月 | 考査範囲 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ３学期 | 1 | 学年末考査 | Lesson 9  Praying Hands | <題材内容>  ・アルブレヒトとアルバートがどのような約束をしたかを理解する。  ・アルブレヒトに学校に行くことを勧められたアルバートが泣いた理由を理解する。  ・「祈りの手」を見たときに，筆者が読者に思い出してほしいことを理解する。  ・アルブレヒトの気持ちを想像してアルバートに手紙を書く。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| 2 | Lesson 10  All the Good Things | <題材内容>  ・マークに関する筆者の思い出を理解する。  ・クラスの雰囲気が悪くなったときに筆者がしたことと，それがどのような効果をあげたかを理解する。  ・マークの葬式で筆者が知ったことを理解する。  ・教師のひとりに感謝の手紙を書く。 | ○  ○  ○  ○ | ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | a  b  c  d |
| Deepen Your Thoughts! 4 | 「アメリカで２週間のホームステイをしたと仮定して，お別れのパーティーでホストファミリーに向けてスピーチを行う」というテーマに関する音声を聞いて話し合い，自分の意見をまとめる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a  b  c |
| 3 | Pleasure Reading  To You Who Will Live in the 21st Century | <題材内容>  ・筆者は持っておらず，読者が持っているものとは何かを理解する。  ・古代，現在，未来において，変わらないものとは何かを理解する。  ・「いたわり」「他人の痛みを感じること」「優しさ」などの，互いを助け合うすばらしい美徳について理解する。 | ○  ○  ○ |  | ○  ○  ○ | ○  ○  ○ | a  d |
| Communication Builder 7～8 | CEFRのB1～B2レベルの４技能統合型テストを行い，自己評価して自身の学習到達度を測る。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a b  c d |
| 《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。 | | | | | | | | |
| 《第３学期の評価方法》  １　評価対象：　a. 授業に対する意欲／b. 発表(内容・態度)／c. 課題等の提出(内容・態度)／d. 小テスト・定期考査  ２　評価配分：　a. 授業に対する意欲○％／b. 発表○％／c. 課題等の提出○％／d. 小テスト・定期考査○％ | | | | | | | | |